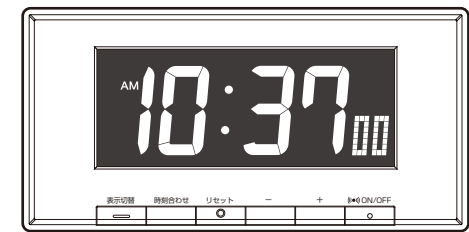


各部の名称と役割

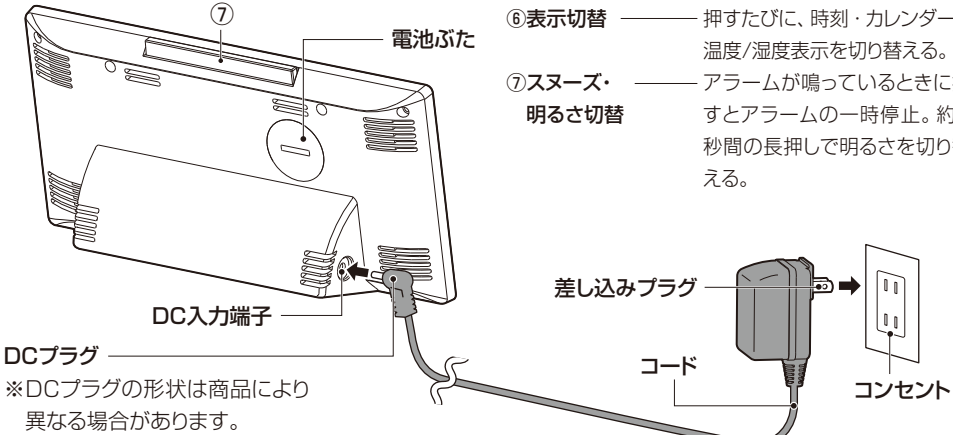
◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

(正面)



(裏面)

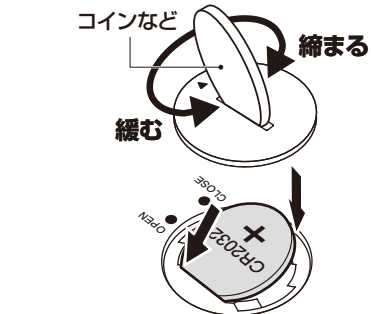


※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

1.電源のセット

(1) 停電補償電池をセットする

停電などでAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。



停電補償電池の役割

停電補償電池は停電などでAC電源から電力を得られないときに、日時やアラーム時刻を保持するためのものです。停電補償電池のみでは日時、アラーム時刻のセット、照明やアラームなどの機能は使えません。必ずAC電源アダプターを使用してください。

⚠ 危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

！ 必ず守る 小さなお子様の手の届く所に置かない
ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

(2) ACアダプターを接続する

⚠ 警告 必ず付属のAC電源アダプターを使用する。
他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがあります。

⚠ 警告 使用中のAC電源アダプターは熱を持ちます。異常ではありませんが、ふれられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。

AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。

2.日時のセット

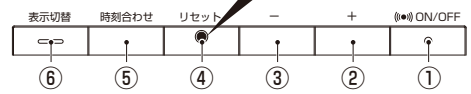
操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

年月日、時刻(時、分、秒)でのボタン操作
点滅している数値を+(進む)または-(戻る)で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます。

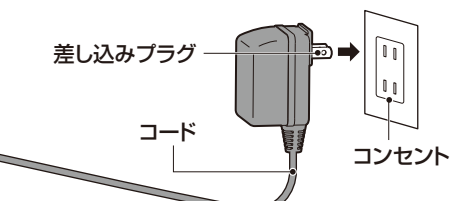
ボタン操作	押してすぐ離す	押し続ける
+(進む)	1つ進む	早送り
-(戻る)	1つ戻る	早戻し

- 表示の設定が12時間表示か24時間表示かをご確認のうえ、時刻合わせをしてください。
- 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。

(正面操作部)



- ①アラームON/OFF — 押すたびにアラームのON/OFFが切り替わります。
- ②+(進む) — アラーム時刻や日時を合わせる
- ③-(戻る) — ときに使用。
- ④リセット — 押すと2019年1月1日、午前12:00:00、アラーム時刻午前6:00にセット。表示の明るさを強にセット。
- ⑤時刻合わせ — 日時を合わせるときに使用。短押しで、12/24h表示を切り替える。
- ⑥表示切替 — 押すたびに、時刻・カレンダー・温度/湿度表示を切り替える。
- ⑦スヌーズ・明るさ切替 — アラームが鳴っているときに押すとアラームの一時停止。約2秒間の長押しで明るさを切り替える。



必ずAC電源アダプターを本体から取り外して作業をしてください。

- ①電池ふたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ふたを取り外す。
 - ②電池の+表示を上にして入れる。
 - ③電池ふたの▲印をOPENからCLOSE位置に回して、電池ふたを取り付ける。
- ※電池が取り出しにくいときは、ようじ楊枝などを挿し込んで電池を持ち上げてください。
※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。
※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどで買い求めください。
※付属の電池はお試用ですので短い期間で電池の交換が必要になることがあります。

3.目覚まし時計の使いかた

設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。

■アラーム時刻を合わせる



12時間表示のときはAM/PMの表示に注意

- ①**アラームON/OFF**を押してアラームマーク(☾☼)を消す
●アラーム状態のときは、アラーム時刻の設定はできません。
※アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態のことです。
- ②+(進む)または-(戻る)を押してすぐ離す
「アラーム時刻」が表示され、アラーム時刻が点滅。
- ③+(進む)または-(戻る)でアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

■アラームのON/OFF設定



アラームをONにすると、アラームマークが常時表示され、アラーム時刻が約5秒間点滅表示した後に設定前の表示画面に戻ります。

■スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに**スヌーズ**を押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目はスヌーズを押してもアラーム音は止まりません。止めるには、アラームスイッチをOFFにしてください。

■アラームオートストップ(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約5分で止まります。アラームの状態はONのままです。

アラームご使用上のご注意

- アラームスイッチがONの状態では、OFFにするまで毎日アラームが鳴ります。
- 停電などでAC電源から電力が供給されないときは、アラームは鳴りません。

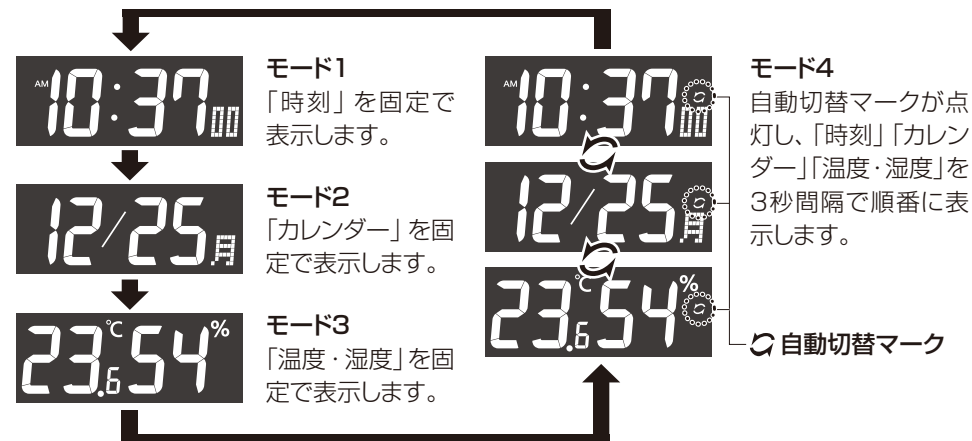
液晶表示の切り替えについて

液晶表示は「時刻」「カレンダー」「温度・湿度」を選択できます。

表示画面は、**表示切替**を押すたびに「モード1」→「モード2」→「モード3」→「モード4」→「モード1」→…の順番で切り替わります。

※電源投入直後はモード4が表示されます。

※日時、アラーム時刻のセット中、アラーム状態のときは切り替えができません。



表示の明るさについて

照明の明るさは、強、中、弱の3段階です。

スヌーズを約2秒間押し続けると、1段階ずつ明るさが低下します。

※「弱」のときにスヌーズを押し続けると「強」になります。

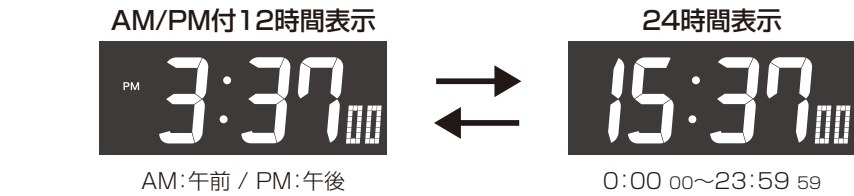
※連続して切り替わりませんので、切り替えるたびにボタンを押し直してください。

※アラームが鳴っているときは明るさを切り替えられません。

時刻表示の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。

※日時、アラーム時刻のセット中、アラーム状態のときは切り替えができません。



温度、湿度表示について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

▶直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

▶温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中、屋外などでは使用しないでください。

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよい所と悪い所で違いがでます。温度、湿度は設置した所の高低によっても違いがでます。

④厳密な温度湿度管理、温度湿度の証明には使用できません。

○センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。

○測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「H」 50℃を超える高温 「Lo」 -9.9℃未満の低温

湿度「H」 95%を超える多湿 「Lo」 20%未満 「--」 測定不可

*湿度は温度が5～50℃のときに測定可能